



真心の行動 慈愛の奉仕 平和に挺身

1995—96年度国際ロータリーのテーマ

ハーバート G ブラウン
国際ロータリー会長

第2560地区
ガバナー——重 田 政 信
会 長——石 橋 育 於
会長エレクト——捧 賢 一
副 会 長——五十嵐 総 一
幹 事——松 谷 晃 吉
副 幹 事——五十嵐 昭 一
S A A——清 水 良 一
副 S A A——菊 池 涉

例 会 日——毎週水曜日 12:30～
例会場及び——三条市旭町2—5—10
事 務 局——三条信用金庫本店内
例 会 場——TEL 35—3311
事 務 局——TEL 35—3477
FAX '32—7095

本日出席会員数	80名中 59名
先々週出席率	88%
前年同期出席率	

先週のメイクアップ

12/4 新潟北へ 捧 賢一さん
12/4 三条南へ 古沢富雄さん
渡辺勝利さん
熊倉昌平さん
金沢興宗さん
藤田紘一さん
12/5 長岡へ 渋谷健一さん
12/5 三条北へ 瀬下一三さん
渡辺喜彦さん
平原信行さん

ヴィジター

三条南より 大溪秀夫さん
三原徹夫さん
三条北より 山上茂夫さん
吉川吉彦さん
大竹和男さん

ゲ ス ト

北越銀行国際部 周 調査役殿

会長挨拶 石橋会長

本日は朝からあられ、雪が降り今冬初の降積雪で外を見ましても屋根が白くなっており、本格的な冬将軍の到来のようで御座居ます。にもかかわらず大勢の会員の方々の出席で喜んでおります。

斎藤出席委員長に感謝申し上げます。三条南より大溪さん、三原さん、三条北より山上さん、吉川さん、大竹さんようこそおいで下さいました。

先週は初代会長であります故金子左武郎様の告別式に参列致しまして上木さんより会長代理を努めていただきすみませんでした。

今度の初代会長死去に対しましては、当クラブの対応に付きましては、先輩の方々より御指導いただきながら松谷幹事ともども努めて参りました。新めて故金子様の御冥福をお祈りいたしまして、挨拶を終ります。

続きまして本日は12月の第一例会ですので定例の総会に入ります。

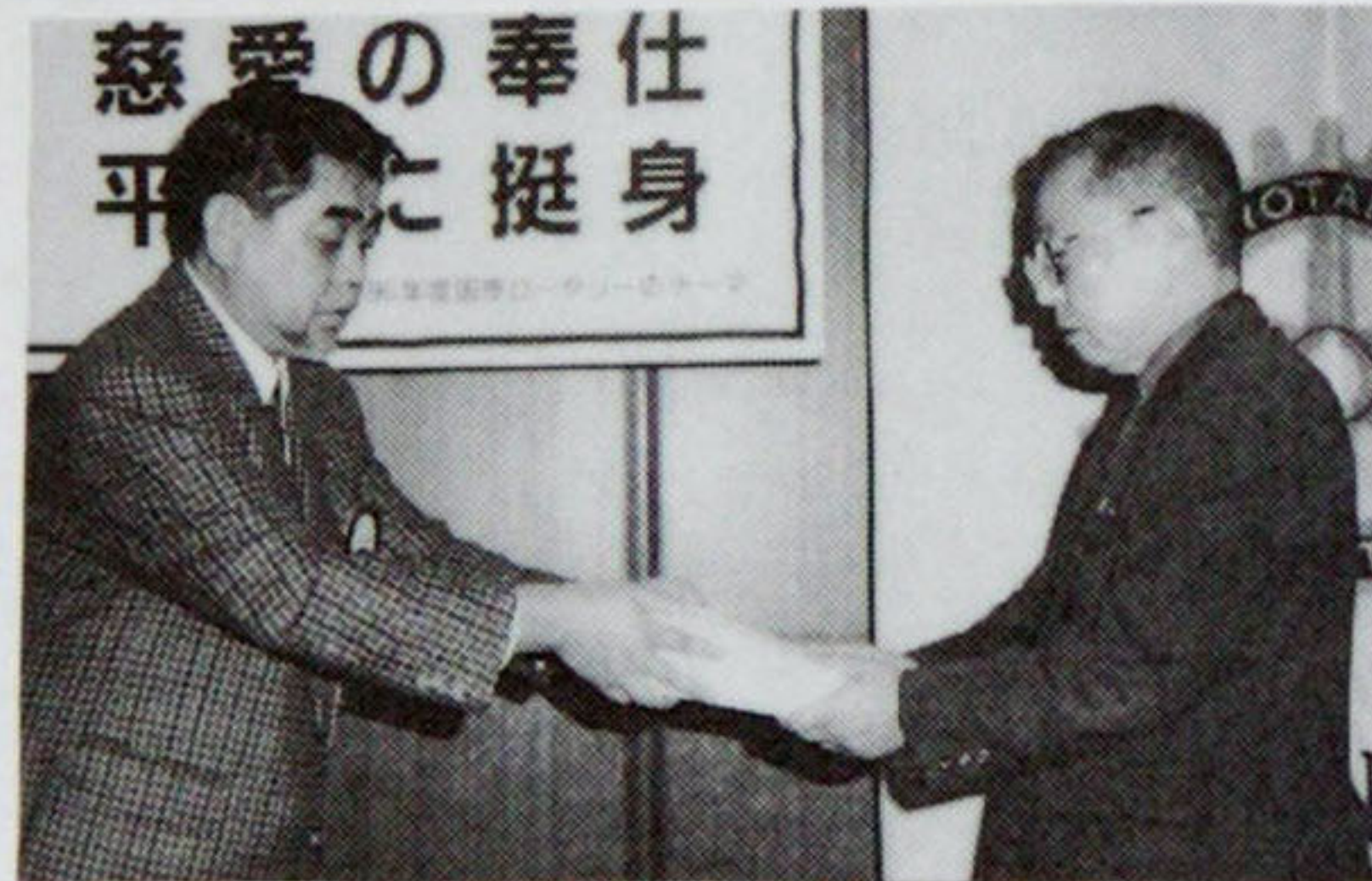
先日皆様に御案内致しました、指名委員会で選出されました理事役員の件ですがその後どなたも立候補がおられませんでしたが、いたがいて御案内しました方々を次年度理事役員に決定させていただきます。

役員

会長 捧 賢 一
 会長エレクト 五十嵐 総 一(クラブ奉仕)
 副会長 細井 増 雄(クラブ奉仕)
 幹事 五十嵐 昭 一
 会計 松谷 昊 吉
 S A A 菊池 涉

理事

石橋 育 於(直前会計)
 五十嵐 力(国際奉仕)
 佐野 勝 栄(副幹事)
 山浦 日出夫(副S A A)
 小林 英 雄
 榎本 勝



米山功労賞を受ける渡辺宏策さん

ニコニコBOX



金子六郎さん(三条南ロータリークラブ)
 叔父金子左武郎殿の葬儀に御弔辞並に御香資、供花をいただき誠に有難うございました厚く御礼申し上げます。叔父は例会に出席し、皆様にお会いすることが生き甲斐でありました皆様の御友情に感謝致します。

山上茂夫さん、吉川吉彦さん(北RC)
 ますますお世話になります。北RC10周年記念事業のチャリティコンサートをよろしくお願い致します。

石橋さん
 先週は上木さんより会長代理をつとめていただき大変ありがとうございました。

佐野さん
 周さんを歓迎して!卓話を楽しみにしています。

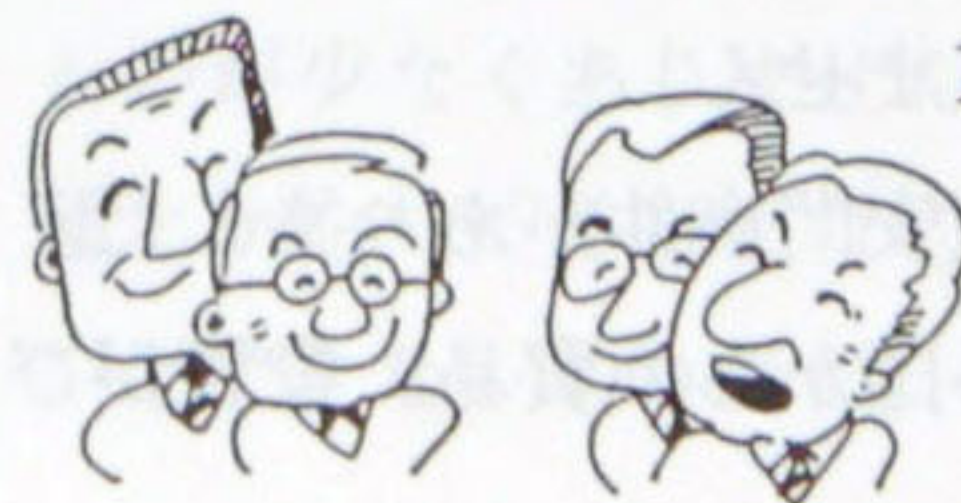
榎本さん
 先月、海上自衛隊舞鶴地方総監より感謝状を戴いて来ました。

斎藤(弘)さん
 12月2日、名古屋の取引先の結婚式に参列致しました。450人位の参列者、仲人が羽田務元総理大臣で来賓の祝詞も、祝電の披露もなく3時間半の時間で短く感じられた大変スマートに思われました。

佐藤(武)さん
 スキーシーズンが始まりました。外山一郎さんリハビリにはげみ一日も早い全快を願っております。

樺山さん
 11月より入会、1ヶ月クリヤー致しました。

小柳さん
 毎週水曜日のおいしい食事に感謝して。



12月6日分

¥21,000

卓話

中国人が語る中国人のこと

北越銀行国際部 周 調査役



アジア開発銀行がまとめたアジア太平洋地域に関する投資調査報告は、アジアに対する直接投資が全体では増加しているものの、対中投資はピークを越し、今年から減少に転じたとの見通しを明らかにしました。しかし、中国へ投資したり、中国を相手として商売をしたりしようとする日本の企業は依然として多いです。また、多くの日本人の方々は中国に対して強い興味を持っておられます。11月ごろにあるお客さんからこういう質問を聞かれました。

— 中国人の雰囲気

— 日本の文化と異なる点や魅力

— 中国語について発音の美しさなど

— 日本と違っている特徴など

実はこれは私によく聞かれる質問です。今日この場を借りて中国人のことを皆さんと一緒に研究してみたいと思います。

文化、人生観などの話題にいろいろな人がさまざまな見方を持っているので、

私が申し上げたのはあくまで個人的な考えですし、述べたことは必ず私自身が賛成することとはかぎりませんので、ご理解をいただきたいと思ひます。

1. 知っているようで知らない中国人

(1) 考え方の違い

価値に対する認識（価値観）—同じ東洋文化で、同じ文字を作っているのだから、日本人と中国人の価値観には大きな違いがないだろうと思っている人は多いようです。特に欧米人との交流を体験した人は、「やはり中国人が我々と同じ東洋人だから、違和感を感じていない」と思うでしょう。また、「多くの中国人は日本人とほぼ同じぐらい丁寧に話をしたり、日本にいと日本の礼儀を尊重したり、あるいは面子を同じ固めに守ったりしているんだから、大体一緒なんだ」と思うかもしれません。

実際のところ、日本人、中国人と欧米人に比べてみれば、中国人が生活に対しての見方、つまり世界観と言うのは、比較的に欧米人の方と近いと思ひます。欧米人は、自分の考え方、自分の認識を優先して、当然に自分の行為に対しても、きちんと責任を取ります。いわゆる「個人主義」とのことでしょう。

集団行動の場合、日本人の協調性は驚くほど高いです。中国人には協調性はないことはないですが、日本人のほどではないと思ひます。また、公的な場合に、日本人ほどの横並びをしないので、みんなと同じのことを言うよりも自分の意見

をはっきり言ってしまふ、会社よりも個人の生活を重視するタイプの中国人は珍しくありません。このような特徴から見ると、中国人が一人の単位で一流の創造能力、発揮能力を持っているといわれています。科学技術業界では大勢の人が協力しながら達成した科学技術成果が比較的に少ないようです。逆に一人、あるいは2、3人ぐらいのグループの協力で済ませる研究や発明がより容易であり、世界からも注目を集める成果も多いようです。たとえば、ソフト開発、数学の研究、伝統工芸などの大規模な協力、協調が必要ではないことは中国人にとってお得意なことだと思ひます。台湾の学者である柏揚氏は、中国人と日本人を比べて、こう言いました。「一人の中国人は10人の日本人に匹敵する。10人の中国人は一人の日本人に負けるはずだ。」

中国に進出して、中国で工場をつくらせて、中国人を雇用する場合、中国人スタッフの創造力をどのようにして最大限に発揮するのか、そしてさまざまな性格を持つ中国人をどのようにして協調させるのかと言うことは、中国進出に当たって、大きな課題となっています。

(2) 地域的な違い

中国は960万平方キロメートルほどの大きい国で、各地の地域性もいろいろです。同じ国といっても、必ず同じことが起きるとは限りません。

89年6月に天安門事件がありました。この年は、諸外国からの貿易、投資がび

たりとなくなり、結果では88年と比べ、3.9%の伸び率に留まって、前年の3分の1に激減しました。このなか、北京、上海、東北三省などの経済活動は大きなショックを受けましたが、福建省や広東省ではほとんどその影響はなく香港、欧米からの投資が続いていました。省、市別で見ると、天津1.6%、上海3.6%、吉林省▲4.1%。それに対し福建省6.5%、広東省7.0%、深圳経済特別区は20.5%も伸びていました。

人件費などで極端に安い話を聞き、それが全国どこでもそうだと思ってしまうようなことがもうひとつの例です。都市によって工場労働者の最低賃金は600元（福利厚生等を含む）までの開きがあります。

(3) ものの考え方における違い

たいていの日本の会社で、品質経営という概念を取っているのでしょうか。つまり、悪いものをいれず、作らず、使って喜んでいただける良い製品を御客様に提供することだと理解されています。その為の品質管理は一面では人間管理であり、従業員の一人一人が決められたことを、守ることが基本です。

もともと中国人は世界中でも有名ですばらしいものを作ることができる民族です。たとえば、景德鎮の陶器のような細かいところまでも美しくて絶品になったものが少なくありません。陶器とか、刺繍とかをつくるひとは心が細かい人でないといけないものです。ところが、近年、

特に若者の中に、「馬馬虎虎」（たいてい）、「没有辦法」（仕方ない）、「没有關係」（気にしない）という発音の頭文字をとって3Mといわれる言葉があります。事実、これは多くの工場内で最も耳にする言葉であり、品質経営の支障となっています。品質管理は「馬馬虎虎」的態度では良くなりません。自己中心の「没有關係」的な考え方では生産性向上には結びません。責任逃避の「没有辦法」的発想では企業は強くなりません。

日本の社会は職場中心の従社会ですが、中国の社会は、前に少し述べましたが、個人中心のメカニズムがありますから、自分の身内、友達を優先する横社会です。会社の為にとという目標を与えると同時に、個人の利益にどう結びついているかを実際に表す必要があります。中国で工場を経営しているある日系企業は、利益三分割法を導入しました。利益の $\frac{1}{3}$ を株主に、 $\frac{1}{3}$ を内部保留、 $\frac{1}{3}$ を従業員賞与に分割することにしています。

(4) 生活における習慣の違い

5,000年の歴史のなかで細かい習慣上の違いがあることは言うまでもありません。例えば食事の時、箸は、日本では手前の方に体と平行に置きますが、中国では右側に体に直角に置きます。日本では、食事の時、お茶碗を持ち上げないようにされていますが、中国ではそういうふうにすると、失礼と思われるかもしれません。〔ほら、あの人はお茶碗を持ち上げないほど怠惰な人、無精な人だ。〕

中国で、人と人のつき合いに置ける交際手段のひとつとして、たばこは重要な役割を果たしています。昔から、人に何かを頼む時に、「手榴弾」(お酒)と「二十響」(20個の小銃弾の入っている銃=たばこ)で頼む先を攻める。友人の前にたばこを出して、相手の方に「たばこを吸いますか」、または「たばこどうぞ」と言わないまま、自分だけ吸ったら、「俺が友達なんて思っていないんだ」と、相手の方がこう思うかもしれません。結局、相手に不快な気持ちをあたえています。もちろん女性の方に確認のないまま、たばこを出したら、失礼になることは言うまでもありません。

(5) 人脈に置ける認識の違い

中国人口の94%が漢民族だから、ほとんどが同じ行動パターンを表すだろうという考えがまちがっています。「北京の高官のAさんと大変親しくしている、だから上海に工場を造ろうとしているわが社のプロジェクトは非常にスムーズに行くと思う」というような話を良く聞きますが、大変間違った見方だと思います。Aさんが上海出身で、今は北京で活躍中と言うなら別ですけれど、そうでなければ、Aさんの「コネ、顔」は上海では全然威力がないかもしれません。場合によって、Aさんの「コネ、顔」が上海でライバルと見られるかもしれません。

確かに、中国のビジネスでは、人脈、コネ、「関係」が大切ですが、中国の経済が進めば進むほど、また経済に占める

非国営、非計画経済のセクターが拡大すればするほど、人脈、「関係」の役割もおのずと変わるのでしょう。

人脈に頼りすぎることには二つの問題があります。

「関係」を持つ多くの方は、コネによるビジネスの世界に安住し、市場経済に必要な企業精神がなかなか足りません。コネのない分野への開拓には消極的に対応したり、あるいは積極的に抵抗したりします。

人脈、「関係」自身も変化しないものではありません。父親が局長、市長である時は、息子は強力なコネを持つかもしれませんが、父親がひとたび引退、あるいは移動してしまうと、息子の強さもなくなることになります。

「市長を頼まず、市場を頼む」は、これからの中国ビジネスのやり方の変化を象徴する言葉です。「市長に強いのではなくて、市場に強い人」を選別・育成することが重要です。

結論

中国に限らず、外国とのビジネスは、表面的な政治、経済関係の現象だけでなく、歴史、文化を含めたその国と国民を正しく理解し、その国との調和と共栄を目指すことこそが、ビジネスの成功には、欠かせないことだと思います。

わが家・色・いろ

渡辺弘栄会員



♣わが家について

男の子2人の4人家族ですが、長男は名古屋、お父さんは三条と各々暮らしが別々です。

◆おとうさんへの要望

お酒の飲み過ぎに気をつけて下さい。

◆お母さんからお父さんへ

これを書きながら今一番思うこと、それはこれからも永く一緒に生活する中で、仕事、家族、社会の大切さを新めて考えさせてもらって、ありがとう。

おとうさんってこんな人

♡おとうさんの好きなおところ

信念がつよく、平らかな気持ちで接する人で笑顔が好きです。

♡おとうさんの得意なおところ

スポーツ、油絵

♡一番うれしかったこと

いつもその時その時と一緒に解り合えることが幸せであります。これからも変わらない気持ちでお願いします。

例会案内

三条RC	12月13日例会	卓話	渡辺勝利会員
	12月20日例会	夫人同伴忘年会	於VIP
	12月27日例会	卓話	三堀正純会員
三条南RC	12月18日例会	忘年家族会	PM6:30~ 於おゝの
	12月25日例会	卓話	土田信夫会員
	1月8日例会	新年例会	
三条北RC	12月19日例会	ファミリークリスマスパーティー	於おゝの
	12月26日例会	卓話	
	1月9日例会	新年例会	

